

第135回八大学工学関連研究科長等会議 議事録(案)

日時 平成30年4月20日(金) 14:00~17:00

場所 KKR東京 11F 孔雀の間

出席者 八大学工学系連合会会員等74名(研究科長等、副研究科長等、運営委員、陪席者)
(出席者名簿参照)

議題等

1. 報告事項

- (1) 前回議事録確認
- (2) 運営委員会活動報告
- (3) 工学系教育改革の検討状況について
- (4) 産業界との人材育成に関する意見交換について
- (5) 工学教育に関する国際交流について

2. 協議事項

- (1) 博士フォーラムの実施報告と今後の進め方について
- (2) 八大学からの平成29年度提言と今後の進め方について
- (3) 工学系教育改革への今後の対応について

3. 講演会

講演Ⅰ 産業技術総合研究所ロケットイノベーション研究センター 大場光太郎氏

講演Ⅱ 文部科学省高等教育局専門教育課 山路尚武氏

4. その他

- (1) 今後の予定について

配布資料一覧

資料1 第134回八大学工学関連研究科長等会議議事録(案)

資料2 平成29年度第2回運営委員会議事録(案)

資料3 工学系教育改革制度設計等に関する懇談会取りまとめ(文科省)

資料4 JRIAとの意見交換会の実施報告

資料5 Asian Engineering Deans' Summit (AEDS2018)(東工大・東大)

資料6 6th UK-Japan Engineering Education-League Workshop(九大・東工大)

資料7 平成29年度博士フォーラム実施報告(東北大)

資料8 提言「高度工学系人材育成への産業界の参画と支援(案)」

資料9 八大学工学系連合会の会長校・幹事校について(参考)

講演Ⅰ 社会実装デザインの必要性 ～ロボットイノベーション～

講演Ⅱ 大学における工学系教育の在り方について

議 事 要 旨

開会の辞

定款施行細則第 20 条に基づいて会長から会長代理に指名された阪大・田中工学研究科長より、第 135 回八大学工学関連研究科長等会議の開会に当たって挨拶があった。

幹事校代表者挨拶

今回の幹事校である東京大学大学院新領域創成科学研究科の三谷研究科長から挨拶があった。

議長選出

定款施行細則第 4 条第 4 項に従って幹事校代表者の三谷東京大学大学院新領域創成科学研究科長を議長に選出した。

会議日程及び資料確認

石原事務局長から、会議日程の説明及び配布資料の確認があった。

出席者自己紹介

議事に先立って、出席者全員からの自己紹介を行った。

議 事

1. 報告事項

(1) 前回議事録(案)確認(資料 1)

資料 1 により、昨年 9 月 28 日に福岡にて開催した第 134 回八大学工学関連研究科長等会議議事録(案)を確認の上、承認した。

(2) 運営委員会活動報告(資料 2)

田中会長代理から資料 2 に基づき、昨年 12 月 5 日に開催した平成 29 年度第 2 回運営委員会の議事の報告が行われ、本日のこれからの議論の参考にされたい旨、紹介があった。

(3) 工学系教育改革の検討状況について(資料 3)

田中会長代理より、一昨年夏より継続してきた文部科学省高等教育局専門教育課と八大学工学部長会議との「大学における工学教育の在り方」をテーマとする意見交換の経緯、およびこの間に文科省が検討会や懇談会での審議を通して立案してきた「工学系教育改革に関する取りまとめ」(資料 3 はこの 3 月末に公表された取りまとめ資料)について説明があった。これらの「工学系教育改革」への今後の対応については、後の協議事項(3)で扱うこととした。

(4) 産業界との人材育成に関する意見交換について(資料 4-1, 4-2)

田中会長代理から資料 4 に基づいて、一般社団法人研究産業・産業技術振興協会(JRIA)との間の意見交換会の平成 29 年度後期実施分についての報告があった。まず、資料 4-1 を用いて昨年 11 月 29 日に「学生の就職活動」をテーマに行った意見交換会の状況が報告され、大学、産業界ともに状況認識しているものの解決策は見つからない状況であるなどのコメントがあった。

また、資料 4-2 に基づいて、先の 3 月 14 日に今年度の八大学からの提言「高度工学系人材育成への企業の参画と支援(案)」を話題に行った意見交換の状況が報告され、「回数を重ねて具体的な議論が出来るようになってきたので、引き続き産業界と意見交換は進めたい」などのコメントがあった。なお、意見交換を行う相手先の拡大や何らかの具体的なアクションにつながる様な

対話の進め方について検討することが報告された。

(5) 工学教育に関する国際交流について (資料 5、資料 6)

田中会長代理から今年度は 2 件の国際会合が計画されていて先ほどの社員総会で説明があったように連合会はこれらに協賛することが報告され、各担当の大学より説明と参加案内があった。まず、資料 5 に基づいて、東工大・岩附工学院院长と東大・大久保研究科長より、来る 5 月 21 日～23 日に東工大・大岡山キャンパスで開催する The 8th Asian Engineering Dean's Summit AEDS2018 の説明があった。また、八大学工学系連合会メンバーも多く参加したプログラム(案)が紹介された。

次に、資料 6 に基づいて、東工大・岩附工学院院长より、これまで東工大が担当して開催してきた日英工学教育ワークショップについて今年は九州大学が開催するとの紹介があり、九大・久枝工学研究院長より 9 月 3 日～5 日に九州大学・西新プラザで開催予定の 6th UK-Japan Engineering Education-League Workshop の実施計画が説明され、各大学にワークショップへの教員、博士課程学生の参加などが案内された。

2. 協議事項

(1) 博士フォーラムの実施報告と今後の進め方について (資料 7)

幹事校を務めた東北大・長坂工学部長から資料 7 に基づき、昨年 11 月 24 日に東北大学青葉山東キャンパスで開催した「博士フォーラム」の実施報告があった。当日の博士課程学生と教員との質疑応答、フォーラムに参加したメンバーのコメント、午前の工学部長会議での議論などが報告され、意見交換が行われた。また、今年度の博士フォーラム幹事校は名大から東大に交代し、今年度は東大が博士フォーラムを企画、実施することが報告された。

(2) 八大学からの平成 29 年度提言と今後の進め方について (資料 8)

田中会長代理より平成 29 年度提言の作成経緯と内容概要の説明として、昨年春の工学部長会議での「5 件程度まで個別テーマで提言を作っていく」という申し合わせに基づいて 7 月の第 1 回運営委員会にて「工学教育への企業の参画・支援」が提案され、提言案を秋の常設会議で議論、12 月 5 日の第 2 回運営委員会で議論、3 月 14 日の JRIA との意見交換を経て、資料 8 となっていることが説明された。また、本文に基本コンセプト、背景、提言項目という八大学共通事項を記述し、参考資料として「各大学の企業と連携した工学教育の事例紹介」を添付という提言の構成が紹介された。本提言案は当会議にて特に問題なしとして承認され、今後は 5 月に文部記者会に投げ込みとホームページ・アップにより公表して、その後は機会を捉えて対外的な意見交換などのフォローアップを進めることとなった。

(3) 工学系教育改革への今後の対応について

報告事項(3)で残してあった協議事項(3)について、田中会長代理より、資料 3 のポイントは 1) 学科・専攻定員の柔軟化、2) 工学基礎教育の強化、3) 学部・大学院連結教育プログラム、4) 産業との教員人事交流など連携強化の 4 項目で、各大学の実情に合わせて個別対応することになること、午前の工学部長会議は、「この教育改革は「出来る規程」、「規制緩和」と考えていること、この後の文科省の講演を通して工学系教育改革の現状と動向を認識して頂きたいなどのコメントがあった。

3. 講演会

- (1) 産業技術総合研究所・ロボットイノベーション研究センターの大場光太郎副センター長より、「社会実装学の必要性和新たな人材育成の取り組み“社会実装デザインスクール”紹介」と題して講演があり、社会実装デザインスクール（人材育成）に関する質疑応答が行われた。
- (2) 文部科学省高等教育局専門教育課の山路尚武課長補佐より「大学における工学系教育の在り方について」と題して講演があり、「工学系教育改革」に関する質疑応答が行われた。

4. その他

(1) 今後の予定について（資料 9）

今後の会議予定について資料 9 を参考に田中会長代理から、今年秋の幹事校が大阪大学、来年春の幹事校が東京工業大学であることが紹介された。

- ・ 次回の常設会議について、幹事校の阪大・田中工学研究科長から、9月28日（金）にメルパルク大阪にて開催予定である旨アナウンスがあった。
- ・ 次々回の常設会議の幹事校である東工大・和田物質理工学院長より、来年4月19日（金）にKKR ホテル東京にて開催とのアナウンスがあった。

次に、会長校について資料 9 を参考に田中会長代理から、平成 30 年度は名古屋大学の 2 年目で、今回、理事会・定時社員総会等の手続きを経て名大・新美先生が会長を退任し、代わって名大・水谷先生に会長に就任頂いたことが報告され、名大・水谷工学研究科長より、会長就任の挨拶があった。

以上をもって第 135 回八大学工学部長会議を終了することを三谷議長が宣言し、事務局長から、この後、情報交換会を開催するので「丹頂の間」に移動頂きたい旨の案内があった。

以上